

Japanese: JP 2003087466 A

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2003-87466

(P2003-87466A)

(43) 公開日 平成15年3月20日 (2003.3.20)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	D 5 B 0 4 7
G 0 6 T 1/00	4 2 0	G 0 6 T 1/00	4 2 0 A 5 C 0 2 2
H 0 4 N 1/04		H 0 4 N 5/222	Z 5 C 0 6 2
5/222		1/04	Z 5 C 0 7 2

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2001-281022(P2001-281022)

(22) 出願日 平成13年9月17日 (2001.9.17)

(71) 出願人 501364184
塚原 勝幸
山梨県南都留郡河口湖町船津4620-6

(71) 出願人 501364195
小林 幸利
山梨県南都留郡河口湖町船津3701

(71) 出願人 501364209
羽田 勝義
山梨県富士吉田市旭3丁目11番14号

(74) 代理人 100080654
弁理士 土橋 博司

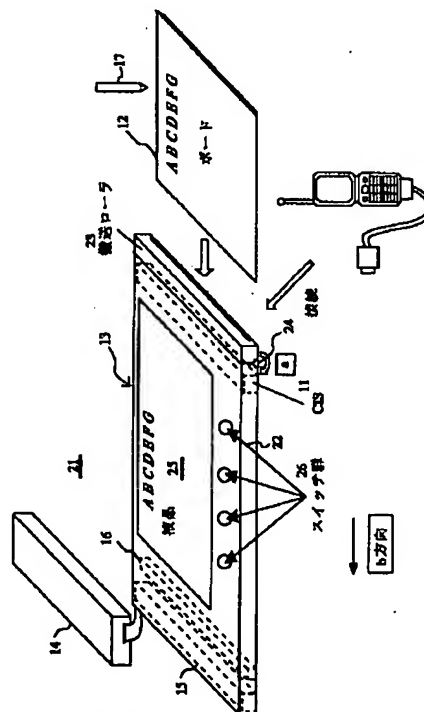
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 スキャナーノート

(57) 【要約】

【課題】手書きの文字（図、絵等）をそのまま読込、記憶し、PCに送信する機能を持たせることにより、いわゆる従来のノートブックと全く同様の使い勝手を持ち、しかも書込みボードの使用により、何回でも繰り返し書込み、消去が可能なスキャナーノート（スキャナー手帳）を提供できるようにすることを目的とする。

【解決手段】ノート型のスキャナーノート本体を備え、このスキャナーノート本体の表面に液晶表示部を有する表示ユニットを設けるとともに、スキャナーノート本体には読取ユニットと印字ユニットを内蔵させ、文字・図形等の画像を書き込んだ書込みボードを別途用意し、スキャナーノート本体に設けた読取ガイドに書込みボードをセットして、読取ユニットで書込みボード上の画像を読み取るようにしたことを特徴とするスキャナーノート。



【特許請求の範囲】

【請求項1】ノート型のスキャナーノート本体を備え、このスキャナーノート本体の表面に液晶表示部を有する表示ユニットを設けるとともに、スキャナーノート本体には読取ユニットと印字ユニットを内蔵させ、文字・図形等の画像を書き込んだ書込みボードを別途用意し、スキャナーノート本体に設けた読取ガイドに書込みボードをセットして、読取ユニットで書込みボード上の画像を読み取るようにしたことを特徴とするスキャナーノート。

【請求項2】読取ガイドが、液晶表示部の下側に配置され、書込みボードを液晶表示部と平行に相対移動させて読取ユニットを通過させるようにしたことを特徴とする請求項1に記載のスキャナーノート。

【請求項3】読取ガイドが搬送ローラを付設され、この搬送ローラが通常は読取ユニットの延長線上に配置されるとともに、折畳んだ状態で読取ユニットとの間で書込みボードを搬送できるようにしたことを特徴とする請求項2に記載のスキャナーノート。

【請求項4】書込みボードが、書込みと消去を繰り返して行なえる材質あるいは構造を有し、専用の筆記具で簡単に書込み・消去を行なえるようにしたことを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載のスキャナーノート。

【請求項5】読取ユニットが、ファックス機能をも備えるようにしたことを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載のスキャナーノート。

【請求項6】ノート型のスキャナーノート本体が、携帯電話等の無線通信機器との接続により通信機能を持つようにしたことを特徴とする請求項1ないし5のいずれかに記載のスキャナーノート。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明のスキャナーノート（スキャナー手帳）はペーパーレスで活用できること、すなわち書込みボードもしくは専用紙を使用し、なおかつ専用の筆記具を使って「書く」、「消す」という操作を繰り返すことができ、ペーパーレス化が図れるとともに、書く／読み取る／表示するという3つの機能を複合したスキャナーノートに関するものである。

【0002】

【従来の技術】現在のビジネス社会における文字文化は手書きからキーボードによる入力に変わりつつある。この現象の背景にはワープロ等で作成した文書・書類等で伝達することが綺麗であるとの認識が一般常識として定着した一面がある。しかしながら、文字を書くことが少なくなった弊害として、漢字が読めるが、書けないという現象が増えてきている。また、手書きで記録した文字をワープロ等で文書・書類等に起こし直す作業を時間をかけて行なっている。そこで、これを解決させる方法と

して、手書き文字を記録した上、パーソナルコンピュータ等に送信し、専用のソフトウェアを用いて文書変換することにより、ワープロ文書・書類を作成させる方法がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら上記のような従来方法においては、手書きで記録した文字をワープロ等で文書・書類等に起こし直す作業は時間や手間がかかり過ぎて、作業の効率が非常に悪い。また、手書き文字を記録した上、パーソナルコンピュータ等に送信し、専用のソフトウェアを用いて文書変換することにより、ワープロ文書・書類を作成させる方法においても、手書き文字の変換効率が悪く、いまだ実用に耐える手書き文字の変換ソフトが開発されていないのが現状である。

【0004】他方、携帯手帳と称するモバイル機器が開発され、実用に供されてきているが、この携帯手帳も、入力はキーボードであったり、手書き文字を記録した上で内蔵するCPU等にインストールした専用のソフトウェアを用いて文書変換しており、上記従来の問題点を解消したものとはいえない。

【0005】そこでこの発明のスキャナーノート（スキャナー手帳）は手書きの文字（図、絵等）をそのまま読込、記憶し、PCに送信する機能を持たせることにより、いわゆる従来のノートブックと全く同様の使い勝手を持ち、しかも書込みボードの使用により、何回でも繰り返し書込み、消去が可能なスキャナーノート（スキャナー手帳）を提供できるようにすることを目的とする。

【0006】またこの発明の携帯可能なスキャナーノートは、ブロードバンド時代を見すえ携帯電話を使用して画像データを短時間にダウンロードすることを可能とし、ディスプレイは画像データを高速で記憶する媒体として画像をコントロールする機能をも備えている。したがって、携帯電話等の無線通信機器と接続して通信機能を持たせることにより、映画／ニュース、ゲーム等々をダウンロードし画像を楽しむことが可能となる。

【0007】さらに、ゲームなどは特に携帯電話等の従来の無線通信機器のディスプレイでは限界があり、携帯電話等へのゲーム配信のネックとなっている。すなわち、今後ブロードバンド時代が到来しても、携帯のディスプレイを大きくすることには限界がある（ディスプレイを大きくすると携帯電話等が大きくなり、携帯電話等が大きくなると携帯電話等の携帯型機器の意味がなくなる）。そこで補助ディスプレイの要求が必ずでてくることが考えられ、この発明のスキャナーノートにCISを付設しておけば、ファックスとして画像データをディスプレイ表示できるようにすることが可能となる。

【0008】

【課題を解決するための手段】すなわちこの発明のスキャナーノートは、ノート型のスキャナーノート本体を備

え、このスキャナーノート本体の表面に液晶表示部を有する表示ユニットを設けるとともに、スキャナーノート本体には読取ユニットと印字ユニットを内蔵させ、文字・図形等の画像を書き込んだ書込みボードを別途用意し、スキャナーノート本体に設けた読取ガイドに書込みボードをセットして、読取ユニットで書込みボード上の画像を読み取るようにしたことを特徴とするものである。

【0009】この発明のスキャナーノートは、上記読取ガイドが、液晶表示部の下側に配置され、書込みボードを液晶表示部と平行に相対移動させて読取ユニットを通過させるようにしたことをも特徴とするものである。

【0010】この発明のスキャナーノートは、上記読取ガイドが搬送ローラを付設され、この搬送ローラが通常は読取ユニットの延長線上に配置されるときともに、折畳んだ状態で読取ユニットとの間で書込みボードを搬送できるようにしたことをも特徴とするものである。

【0011】この発明のスキャナーノートは、上記書込みボードが、書込みと消去を繰り返して行なえる材質あるいは構造を有し、専用の筆記具で簡単に書込み・消去を行なえるようにしたことをも特徴とするものである。

【0012】この発明のスキャナーノートは、上記読取ユニットが、ファックス機能をも備えるようにしたことを特徴とする請求項1ないし4のいずれかに記載のスキャナーノート。

【0013】この発明のスキャナーノートは、上記ノート型のスキャナーノート本体が、携帯電話機等の無線通信機器との接続により通信機能を持つようにしたことをも特徴とするものである。

【0014】この発明のスキャナーノートは以上のように構成したので、手書きの文字（図、絵等）をそのまま読込、記憶し、PCに送信する機能を備えている。したがって、従来のノートブックと全く同様の使い勝手を持ち、しかも書込みボードの使用により、何回でも繰り返し書込み、消去が可能なスキャナーノート（スキャナー手帳）が提供できるようになった。

【0015】またこの発明の携帯可能なスキャナーノートは、ブロードバンド時代を見すえ携帯電話を使用して画像データを短時間にダウンロードすることを可能とし、ディスプレイは画像データを高速で記憶する媒体として画像をコントロールする機能をも備えている。したがって、携帯電話等の無線通信機器と接続して通信機能を持たせることにより、映画／ニュース、ゲーム等々をダウンロードし画像を楽しむことが可能となる。

【0016】

【発明の実施の形態】以下、この発明のスキャナーノートの実施の形態を図面に基いて詳細に説明する。図1はこの発明のスキャナーノートの1実施例を示す概略斜視図、図2は画像表示機能の1例を示す説明図である。

【0017】図1に示すように、この発明のスキャナー

ノートは、例えばCIS（contact image sencer／密着イメージセンサ）等からなる読取ユニット11、書込みボード（手書き）12、表示ユニット13、外付け型プリンタ14、内蔵型プリンタ15、消去ユニット16より構成されている。そしてこれらの各ユニットがスキャナーノート本体21に組み付けられている。この発明のスキャナーノートの最大の特徴は、書込みボード12にある。この書込みボード12は各種の基板類に、微細な凹凸を形成して書込みを可能としたり、通常の紙に特殊処理を行って書込みを可能とし、なおかつ特殊なインクで構成されたペン等の筆記具17を使うことにより、紙に書くのと同様な筆感を実現しつつ、消去ユニット16に含浸させた特殊な液体によって消しカスを発生せずに消去できるようにしたものである。これにより、紙の使用量の大幅な削減が可能になる。もちろん、上記消去方法としては、紫外線等照射機構を内蔵した消去ユニット16を用い、筆記具17には紫外線等で消えるインクを使用して、紫外線等が当たると画像が消える機構とすることもできる。上記書込みボード12の特徴としては、そのまま書き込むタイプと書込みボード12上へ細かい吸盤を取り付け、それに特殊シートを乗せ、吸盤の吸着力で保持して使うタイプとを用意することができる。上記のうち、特に吸盤タイプの書込みボード12は、通常用の紙も吸着するため、通常紙も読み取り可能になる。

【0018】次に読取ユニット11は、CIS（contact image sencer／密着イメージセンサ）であることが望ましい。このCISは、通常紙及び書込みボードを読み取ることができる。また、ハンドスキャナーとしても使用可能である。読取ユニット11は、スキャナーノート本体21の長さ方向に沿ってその下面に設けた読取ガイド22の端部に設置され、読取ガイド22に書込みボード12をセットして、搬送されてきた書込みボード12上の画像を読取ユニット11で読み取るようにしてある。

【0019】より詳しくは、上記読取ガイド22は搬送ローラ23を付設され、この搬送ローラ23が通常は読取ユニット11の延長線上に配置されていて、搬送してきた書込みボード12上の画像を読取ユニット11で読み取るものである。特に、搬送ローラ23の支持部分を蝶番24を介して折畳んだ状態において、搬送ローラ23と読取ユニット11との間で書込みボード12を搬送するようにすれば、非常に薄型のスキャナーノートを提供することができる。もちろん、搬送ローラ23の支持部分を延長した状態においては、自己操作型のハンディスキャナーとしても利用することができる。

【0020】表示ユニット13は液晶表示部25、各種のスイッチ群26で構成され、表示ユニット13を構成するこの液晶表示部25の下側には、上記読取ガイド22が配置されている。そして、書込みボード12を液晶表示部25と平行に相対移動させて読取ユニット11を

5

通過させることにより、書込みボード12の画像の読み取りを可能としている。このような表示例を図2に示す。図2においては、液晶表示部25に予め入力済みのデータを表示させておく。その後は次のように作動する。

- ① ペン等でタッチするとその行がフラッシングする。
- ② 専用書込みボードに日程変更書き込み
- ③ 専用書込みボードに文字を読み込み

4専用書込みボードの文字を前回表示文字サイズに変更して書き換える。以上の操作に際し、読取画像等のページを適宜呼び出す機能を備えておくことはいうまでもない。もちろん上記表示ユニット13は、読取ユニット11にて読み取ったものを表示するだけに留まらず携帯電話等の外部データをも表示可能である。

【0021】印字ユニット14は小型インクジェットプリンタ等で構成することが望ましいが、特にスキャナーノート本体21に内蔵する必要はなく、外付け型のプリンタとすることができる。もちろん、携帯時には外しておき、会社や家庭に戻ってからプリントするようにすることができる。

【0022】(スキャナーノートの使用環境)スキャナーノートをより普及させるために必要な環境として、OCR変換ソフトが挙げられる。現状のOCR変換ソフト(手書きした文字をワープロ文字に変換するソフトウェア)は、識字率が100%ではなく、かつ時間がかかる。したがって、これを解決すれば手書き文化を継承してゆくことが可能である。すなわち、手書き文字の認識精度が完全なものになれば、金銭のやり取りをサインで行うことも可能となる。特にスキャナーノートをレジスターに組込んでカード払いを可能とする場合、サインをスキャナーノートにもらい、本人を識別すればよい。そしてそのサインには自動的に日時が打たれるため、そのサインの有効性を管理することができる。上記操作をより正確に行なうための方法として、スーパーコンピュータの利用を可能とすることが望ましい。個人でのスーパーコンピュータの使用は困難であるが、現在のプロバイダを集約してスーパーコンピュータを基軸とした新規のプロバイダーを構成する。この新規プロバイダーの最大の機能は、スーパーコンピュータを保有することにより、今まで個人では不可能であったスーパーコンピュータを通信料にて使用可能とする。そして先ず個人としての新規プロバイダーの使用環境として、手書き入力したデータを通信系を介してプロバイダへ送る。プロバイダは、スーパーコンピュータにて手書き入力データをワープロ文字に変換して個人へ返す。また、通信系の接続フリーを利用し、パソコン上で使用しているソフトを使いたいときだけ配信し使用可能とする(ソフトリース)。これにより、パソコンの機能をスーパーコンピュータレベルで使用可能とする。

<基本構成>

6

- 1) 表示ユニット: 液晶画面
 - 2) 読取ユニット: 密着イメージセンサーによる画像データの読み込み
 - 3) 書込みボード: 脱着式ボード
 - 4) 記憶ユニット: 画像データをメモリー(記憶媒体)に取り込む
 - 5) 入出力ユニット: 電話・パソコン・プリンター接続
 - 6) 制御ユニット: 制御装置・換作スイッチ
 - 7) 読込ユニット: 記憶媒体からの画像データの入力
- <機能>

- 1) 書込みボードに書込んだ文字、図、絵もしくは書込みボード上に置かれた用紙、写真等を画像として読取り、メモリー記憶すると同時に表示画面に表示する。
- 2) 書込みボード、用紙上に書かれた文字、図、絵は何度でも書換ができる。書込みボードはメモ帳として使用することができる
- 3) 記憶した画像を携帯電話・パソコンに送信ができる。記憶した画像を電話もしくはネットワークを通じて送信ができる。
- 4) 電話もしくはネットワークで受信した画像データを受信し、画面表示、記憶できる。表示画面での確認ができることからFAXと違い用紙が不要である。
- 5) 携帯電話と接続し携帯電話に配信されたデータ画面を拡大表示する表示機として使用できる。
- 6) 記憶媒体から取り組んだデータ画像をメモリーに記憶するとともに表示画面に表示する。
- 7) プリンターと接続しメモリー記憶された画像をプリントアウトできる。
- 8) ローラー部を折りたたみ、読み取るものをはさむようにして読取りができる。

【0023】次に、ベンチャー企業向けとして、通常ベンチャー企業が、新規開発を行う上で公開されている基礎技術等の入手は、きわめてコスト高となる。また、その分野に精通していないと基礎技術の入手さえも難しい。こういう実情ではベンチャーの発達は難しい。そのためにも、公開されている技術を検索できるシステムが必要である。そのシステムは、新規開発のキーワードを入力することにより、その開発に必要と考えられる技術情報を検索してくれるシステムである。例えばスキャナーノートを開発しようとした掛合、読取ユニット、書込みユニット、表示ユニット、印字ユニットと入力するとその項目の基礎技術資料を検索配信してくれる。またその開発品の仕様、図面を細かく入力することにより、シミュレーションを行ってくれる。また上述したような、携帯端末にて個人レベルがスーパーコンピュータを使用できるという環境は、真のIT革命を生み出す可能性を秘めている。その環境を生み出すため、資料のデータ化に対し雇用の創出が見込め、そのデータをより精度良く検索するためのソフト、それらを管理するより安価なスーパーコンピュータの製造の創出、アクセス料金収

入の創出、それ以上に新しい技術、製品の開発による雇用の創出が期待できる。

<基本構成その他>

- 1) 表示ユニット：液晶画面
- 2) 読取ユニット：密着イメージセンサーによる画像の読み込み
- 3) 記憶ユニット：画像データをメモリー（記憶媒体）に記憶
- 4) 出力ユニット：光通信（IRDA他）あるいは電波による名詞出力（自分の名詞を相手に送信）

<名刺交換機能>

- 1) 双方とも当機を所有の場合、予めメモリーしてある自分の名詞を双方向通信で交換し合う。
- 2) 相手が当機を所有していない場合、受け取った名詞を読み取り、液晶画面に表示し、了解を得て返却する。
- 3) その後必要に応じてキーワードを設定し、メモリーしておく。
- 4) 使用頻度に応じて出力して別の記憶媒体にファイリングする（PCへの移管の場合OCR変換も可能にする。）

<活用方法>

- 1) 普及することにより、ペーパーレスを可能にし資源保護及び事務費削減につながる。
- 2) PC等でオリジナル名詞の作成が可能になる。
- 3) 従来大変だった名詞整理及びファイリングが簡単にできる。
- 4) 従来外出先で必要としていた名詞ファイルがこれ1台で済み、またアドレス帳や電子手帳への転記といった煩わしい作業が不要になる。

【0024】A) 学校教育での活用

1) ノートレス

- ・学年に応じた枠（何度でも書換の出来る用紙）にノートに書き込むのとまったく同じ方法で記入する。
- ・上記「枠」は数枚用意しておき、授業終了時に読み込ませる。
- ・読み込みと同時に枠に書かれた文字、図、絵等は自動的に消去するまたは手で消す。

2) 学校からの連絡事項をスキャナーノートの記憶させ、連絡帳とする。

3) 教科書の持運び不要

- ・教科書の内容が記憶された媒体を生徒に事前配布もしくは各教室に準備する。
- ・生徒は必要な記憶媒体（教科書）をスキャナーノートに読み込ませる。
- ・スキャナーノートの表示画面に教科書を表示させ授業を受ける。

【0025】B) ビジネスおよび一般での活用

1) 手書き議事録／商談結果の記録

- ・枠（何度でも書換の出来る専用用紙）に上記の内容を書き込み、読み込ませ記憶させる。

- ・上記の記録をPCでOCR変換させ手書き文書をワープロ文書に変換させる。このスキャナーノートによりOCRソフトはより進化することが期待できる。

- ・業務報告としてPCネットワークを通じて送信する。

2) FAXおよびメールとして

- ・記憶された画像データを携帯電話を通じて送信する。
- ・受信／配信された画像データを記憶、表示画面できる。データ画面を拡大表示する表示機として使用する。大きい画面でゲームを楽しむ

10 画像配信を受ける

3) 資料書庫（ファイル）として

- ・商談・打ち合わせ等に必要な資料を記憶させ、客先では画面に表示させ商談・打合せを行なう。客先で資料の要求があれば、客先のプリンターに接続しプリントアウトする。

【0026】C) スキャナー手帳としての活用：手帳サイズ

1) 日記

- ・手書きした文章、絵等を読み込み記憶させる。

20 ※パスワード設定で本人以外は見る事ができない。

2) FAXおよびメールとしての活用

- ・記憶された画像データを携帯電話を通じて送信する。
- ・受信／配信された画像データを記憶、表示画面できる。データ画面を拡大表示する表示機として使用する。大きい画面でゲームを楽しむ。画像配信を受ける。

【0027】<使用方法>

1) 学校教育での活用

校内にネットワークを構築し、生徒が登校したら机の上に置き通信接続することにより、

30 ①学校・教師と生徒・父兄間の相互連絡帳（コミュニケーションツール）として展開できる

②テストのペーパーレス化と採点角荷の低減

- ・問題を専用用紙に印刷し生徒に配布、回答を記入後、個々のスキャナーノートで読み込ませ教師側に送信する。採点結果は教師側から生徒個々のスキャナーノートへ送信する。上記①により父兄が都度確認する。
- ・教師はPC等の画面上で採点する。（問題によっては自動採点させる。）

③出欠席・早退、遅刻の管理ができる。

40 ④授業に必要な教科書・参考資料を教師側から授業の都度送信できる。

⑤教材費の削減ができる。

【0028】2) ビジネスおよび一般での活用

携帯電話との一体化

- ①スキャナーノート・スキャナー手帳の本体に携帯電話の機能を組み込むことで携帯電話では実現できない大型の画面表示を得ることができる。また、受話機部は小型化し本体と別体として、携帯しやすいものとする。本体はカバンなどに収納しておき、画面確認が必要となきに取り出し使用する。

②画面を別体とすることで、携帯電話をペンレベルに小型化可能となる。

③電話は音声入力でかけられることとする

書籍等のペーパーレス化による販売

漫画・新聞を記憶したソフトをスキャナーノートに読み込み、記憶させ、画面表示させる。

<各種ソフトの供給方法>

①コンビニ等に販売装置を設置する

②インターネットによって配信する。

【0029】

【発明の効果】この発明のスキャナーノートは以上のよう構成したので、手書きの文字（図、絵等）をそのまま読込、記憶し、PCに送信する機能を備えている。したがって、従来のノートブックと全く同様の使い勝手を持ち、しかも書込みボードの使用により、何回でも繰り返し書込み、消去が可能なスキャナーノート（スキャナー手帳）が提供できるようになった。

【0030】またこの発明の携帯可能なスキャナーノートは、ブロードバンド時代を見すえ携帯電話を使用して画像データを短時間にダウンロードすることを可能とし、ディスプレイは画像データを高速で記憶する媒体として画像をコントロールする機能をも備えている。した

がって、携帯電話等の無線通信機器と接続して通信機能を持たせることにより、映画／ニュース、ゲーム等々をダウンロードし画像を楽しむことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

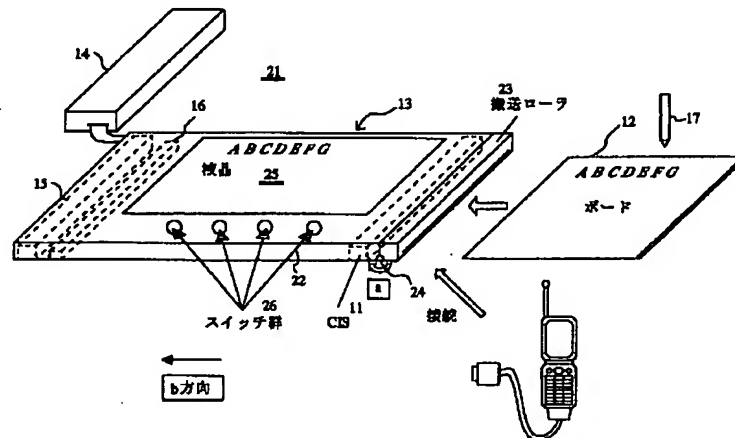
【図1】この発明のスキャナーノートの1実施例を示す概略斜視図である。

【図2】画像表示機能の1例を示す説明図である。

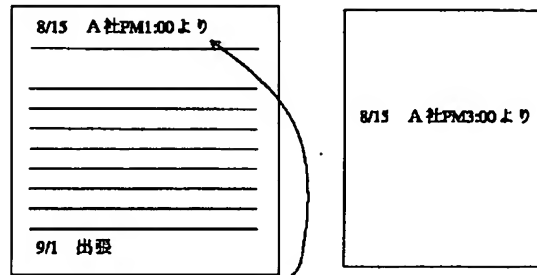
【符号の説明】

- 11 読取ユニット
- 12 書込みボード（手書き）
- 13 表示ユニット
- 14 外付け型プリンタ
- 15 内蔵型プリンタ
- 16 消去ユニット
- 17 筆記具
- 21 スキャナーノート本体
- 22 読取ガイド
- 23 搬送ローラ
- 24 蝶番
- 25 液晶表示部
- 26 スイッチ群

【図1】



【図2】



- ① ペン等でタッチすると
その行がフラッシングする。
- ↓
- ② 専用書き込みボードに日程変更書き込み
- ↓
- ③ 専用書き込みボードに文字を読み込み
- ↓
- ④ 専用書き込みボードの文字を前回表示文字サイズに
変更して書き換える。

フロントページの続き

(72)発明者 塚原 勝幸
山梨県南都留郡河口湖町船津4620-6

(72)発明者 小林 幸利
山梨県南都留郡河口湖町船津3701

(72)発明者 羽田 勝義
山梨県富士吉田市旭3丁目11番14号

Fターム(参考) 5B047 BB02 BC14 BC18 BC20 BC23
CA23

5C022 AA12 AC42 AC74 CA07

5C062 AA05 AA12 AA30 AB02 AB17
AB22 AB23 AB38 AC02 AC04
AC05 AC34 AD04 AE01 BA01
BB03

5C072 AA01 AA03 BA01 DA25 PA08
SA03 VA10 XA10

PAT-NO: JP02003087466A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003087466 A
TITLE: SCANNER NOTEBOOK
PUBN-DATE: March 20, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TSUKAHARA, KATSUYUKI	N/A
KOBAYASHI, YUKITOSHI	N/A
HANEDA, KATSUYOSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TSUKAHARA KATSUYUKI	N/A
KOBAYASHI YUKITOSHI	N/A
HANEDA KATSUYOSHI	N/A

APPL-NO: JP2001281022

APPL-DATE: September 17, 2001

INT-CL (IPC): H04N001/00, G06T001/00 , H04N001/04 , H04N005/222

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a scanner notebook that has a function of reading, storing a hand-written characters (graphic and picture or the like) and transmitting them to a PC, has the entirely equal user-friendliness as that of a so-called conventional notebook, and is capable of repetitively writing and erasing the written-character any number of times by employing a write board.

SOLUTION: The scanner notebook is characterized in that it has a scanner notebook main body of a notebook shape, a display unit having a liquid crystal

display section is disposed on the surface of the scanner notebook main body,
the scanner notebook main body incorporates the read unit and the print unit,
the write board on which images such as characters and graphics are written are
separately prepared, the write board is set to the read guide provided to the
scanner notebook main body and the read unit reads the image on the write board.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO